

事務事業名	文化振興事業			事業コード	10050800101		
所管部署	文化課	電話	50-3164	記入者名	栗原 紀		
事業対象	市民						
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	歴史・文化・芸術の伝承と振興			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	有 坂井市文化未来会議設置要綱、坂井市全国文化芸術大会出場奨励金支給要綱						
関連計画・マニュアル	無						
【事業の概要】 事業の目的・事業の概要等	<p>全国大会に出場する市民に対し大会での活躍を激励することにより、文化芸術の向上を図る。また、市民が主体となって活動する「坂井市文化未来会議」を設置し、文化活動の振興を図る。丸岡城観光の充実と市街地活性化を図るために、「一筆啓上 日本一短い手紙」の応募作品や、愛媛県西与市の「かまぼこ板の絵」とのコラボ作品の展示を行う「一筆啓上手紙資料館」（仮称）の建設に係る設計を委託する。</p>						
	<p>○需用費（消耗品、光熱水費等） 215千円 ○役務費（陶芸工房火災保険料） 7千円 ○委託料（丸岡城復元模型展示台制作）976千円 （一筆啓上手紙資料館（仮称）建設工事設計）6,541千円 （地質調査）120千円</p> <p>【激励事業】 全国文化芸術大会等に出場1名につき5千円、団体については100千円を限度として支給する。 ○報償費（激励費） 80千円</p>						

すぐに行ける改善提案	市民に、周知・普及活動の推進を目指していきます。		
目標年度 平成25 年度			
取組状況	広報誌や市のホームページを利用して周知・普及していきます。		
中長期的に取り組むべき改善提案	文化未来会議の意見をいただき、文化活動の振興を図ってまいります。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	文化未来会議を継続的に年3回程度開催し、文化行政に対する提言をいただき、今後の文化行政に反映していきます。		

【前年度改善案に対する取組状況】	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない	B. 少し薄れている	C. 薄れている	A		
		【市の実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である	B. あまり妥当でない	C. 妥当でない	A	
			【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない	B. 多少偏っている	C. 偏っている	B
				【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない	B. 検討の余地あり	C. できる
【担当者評価】	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない	B. 検討の余地あり	C. できる	A		
		【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない	B. 検討の余地あり	C. 見直すべき	A	
	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）		A. 順調である	B. あまり順調でない	C. 順調でない	A	
【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？		A. 余地はない	B. 検討の余地あり	C. 見直すべき	A		
		【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない	B. 検討の余地あり	C. できる	A	

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	文化振興費					
【事業のコスト】	コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
			報酬	千円	千円	千円	千円				
			委託費	7,638千円	千円	千円	千円				
			需用費	215千円	220千円	千円	千円				
			役務費	7千円	7千円	千円	千円				
			その他	80千円	125千円	千円	千円				
		事業費合計	7,940千円	352千円	千円	千円					
		人件費	正職員	0.00人	千円	0.87人	6,185千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
			人件費合計	0.00人	千円	0.87人	6,185千円	人	千円	人	千円
	総事業費		7,940千円	6,537千円	千円	千円					
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円				
			使用料・手数料	40千円	40千円	千円	千円				
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円				
地方債			千円	千円	千円	千円					
その他			千円	千円	千円	千円					
一般財源		7,900千円	6,497千円	千円	千円						
財源合計	7,940千円	6,537千円	千円	千円							

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由	全国大会に出場する市民に大会での活躍を激励することにより文化活動の振興を推進していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由	引き続き市が実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由	現行予算を最大限に活用して実施します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由	現在の人員で事業を実施します。			
すぐに行ける改善提案	市民に周知・普及活動の推進を目指していきます。			
目標年度 平成26 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	文化未来会議の意見をいただき文化活動の振興を図ってまいります。			
目標年度 平成26 年度				

成果	指標名	単位	年度		平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
			目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率		
全国大会出場者数		人	目標値	30	達成率	30	達成率	30	達成率	30	達成率	
			実績値	16	53.33	25	83.33	20	66.67	41		
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率	
			実績値									
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率	
			実績値									
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率	
			実績値									
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率	
			実績値									
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率	
			実績値									

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

【事業のコスト】

【事業の成果】

【前年度改善案に対する取組状況】

【担当者評価】

【所属長評価】

事務事業名	文化団体補助事業			事業コード	10050800106
所管部署	文化課	電話	50-3164	記入者名	栗原 紀
事業対象	(公財)丸岡文化財団、坂井市文化協会				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務(任意的なもの)
	基本計画	歴史・文化・芸術の伝承と振興		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	業務の全部を委託	委託内容	(公財)丸岡文化財団事業、坂井市文化協会事業
根拠法令	無				
根拠例規	有	坂井市教育委員会文化課所管補助金等交付要綱			
関連計画・マニュアル	無				
事業の概要	地域性豊かな伝統文化の継承と文化活動の振興を図ることを目的に、(公財)丸岡文化財団事業及び坂井市文化協会の実施する文化活動事業を支援する。				
	<p>【(公財)丸岡文化財団】 人件費及びまるおか子供歌舞伎事業に係る経費について補助することで、各種文化事業の企画・運営を行う(公財)丸岡文化財団を支援する。 ・(公財)丸岡文化財団運営補助金 20,655千円</p> <p>【坂井市文化協会】 協会の運営及び活動事業に係る経費について補助する。 ・坂井市文化協会事業補助金 2,560千円</p>				

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	文化振興費					
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度			
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	23,215千円	21,652千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	23,215千円	21,652千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.00人	千円	0.30人	2,133千円	人	千円	人	千円	
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円	
		人件費合計	0.00人	千円	0.30人	2,133千円	人	千円	人	千円	
		総事業費	23,215千円	23,785千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
その他	千円		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
一般財源	23,215千円	23,785千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計	23,215千円	23,785千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円			

指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	
成果	文化活動事業数	目標値	130	達成率 130	達成率 130	達成率 50	
		実績値	116	89.23	115	88.46	122
活動	文化協会会員数	目標値	3150	達成率 3150	達成率 3250	達成率 3372	
		実績値	2909	92.35	2973	94.38	3027
		目標値		達成率	達成率	達成率	
		実績値		達成率	達成率	達成率	
		目標値		達成率	達成率	達成率	
		実績値		達成率	達成率	達成率	
		目標値		達成率	達成率	達成率	
		実績値		達成率	達成率	達成率	

すぐにできる改善提案	坂井市文化協会補助金については、組織や運営を見直しを行い段階的に2分の1にしています。
目標年度 平成25年度	
取組状況	坂井市文化協会補助金については平成25年度から対象事業費の2分の1に移行します。
中長期的に取り組むべき改善提案	市民(若年層)がより多く参加できるよう、団体の運営を行う必要があります。
目標年度 未設定 年度	
取組状況	団体の目的を再度確認し、市民のニーズに合った運営を行うようにしていきます。

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか?	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか?(国、県、民間の活動と重複していませんか?)	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか?	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力(民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等)を導入することで、さらにコスト削減することができますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか?(事業の成果が十分に上がっていますか?)	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか?	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか?	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由	丸岡文化財団及び坂井市文化協会の実施する文化活動を支援していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由	財団・協会が実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由	現行の予算を最大限に活用して実施していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由	現在の人員で事業を実施します。			
すぐにできる改善提案	文化協会補助金については、組織や運営を見直しを行い段階的に2分の1にしています。			
目標年度 平成26年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	市民(若年層)がより多く参加できるよう、団体の運営を行う必要があります。			
目標年度 平成26年度				

【事業の成果】

【所属長評価】

【前年度改善案に対する取組状況】

事務事業名	文化活動支援事業			事業コード	10050800111
所管部署	文化課	電話	50-3164	記入者名	栗原 紀
事業対象	市民、坂井市文化協会				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	歴史・文化・芸術の伝承と振興		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	文化祭事業、公演事業、市民文化創造企画支援事業
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				
事業の概要	優れた舞台芸術公演を鑑賞する機会や発表する場を提供することで、地域の文化芸術水準の向上や活性化を図るとともに、市民の文化活動への積極的な参加を推進していく。				
	【坂井市民文化祭】 市民が日頃の文化活動の成果の発表と交流を図る文化祭を開催する（10月～11月）。総合開会式、4地区会場で開催。 ・坂井市民文化祭事業委託料 4,984千円				
	【文化施設公演委託】 ハートピア春江及びみくに文化未来館において文化公演を実施する。 ・文化施設公演業務委託料 30,000千円				
事業の目的・事業の概要等	【市民文化創造企画支援事業委託】 市民グループが自主的に企画立案した事業を支援する。 ・市民文化創造企画支援事業委託料 912千円				

すぐに行ける改善提案	文化祭事業は、現状のスタイルを継続しますが、部門ごとの合同開催を働きかけることで実践を目指します。		
目標年度 平成25 年度			
取組状況	文化祭事業では、市内高校生の書道、絵画等の作品展示を行うなど、これまで参加のなかった年代層の取り込みを図りました。		
中長期的に取り組むべき改善提案	公演事業については、ハートピア春江を坂井市の拠点ホールとして位置づけ、みくに文化未来館を地域の身近なホールとして競合しないよう運営に留意し、市民がより質の高い芸術文化に触れられる公演事業の開催や、地域住民の文化活動を支える事業、若年層が芸術文化を体験できるような文化芸術の教育普及事業の実施を目指します。		
目標年度 平成28 年度			
取組状況	公演事業の計画の際は、ハートピア春江、みくに文化未来館それぞれのホールの特性を考慮し、事業の趣旨や目的に相応しい内容で実施できるよう協議を行ってまいります。		

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
効率性	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B
	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
有効性	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	文化振興費				
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	35,896千円	21,082千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	35,896千円	21,082千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.00人	千円	0.14人	995千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.00人	千円	0.14人	995千円	人	千円	人	千円
	事業費	総事業費	35,896千円	22,077千円	千円	千円	千円	千円		
		特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
地方債			千円	千円	千円	千円	千円	千円		
その他			千円	千円	千円	千円	千円	千円		
一般財源		35,896千円	22,077千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計	35,896千円	22,077千円	千円	千円	千円	千円				

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由	地域の文化芸術水準の向上や活性化を図るとともに、市民の文化活動への積極的な参加を推進していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由	市の事業であるが文化協会等に委託して実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由	現行の予算を最大限に活用して実施します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由	現在の人員で事業を実施します。			
すぐに行ける改善提案	文化祭事業は、現状のスタイルを継続しますが部門ごとの合同開催を働きかけることで実践を目指します。			
目標年度 平成26 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	公演事業の計画の際には、事業の趣旨・目的にふさわしい内容で実施できるように早くから十分協議を行ってまいります。			
目標年度 平成28 年度				

	指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度				
成果	市民文化祭作品展示出展数	点	目標値	5000	達成率	5000	達成率	5000	達成率		
			実績値	5477	109.54	4874	97.48	4985	99.7	6730	134.6
成果	市民文化祭芸能発表出演者数	人	目標値	1400	達成率	1400	達成率	1400	達成率		
			実績値	1395	99.64	1310	93.57	1348	96.29	1334	95.29
活動	市民文化祭来場者数	人	目標値	10000	達成率	10000	達成率	10000	達成率		
			実績値	10859	108.59	10777	107.77	11673	116.73	7350	73.5
活動	公演事業入場料収入（ハートピア春江）	千円	目標値	5370	達成率	6907	達成率	10047	達成率	5780	達成率
			実績値	5534	103.05	6803	98.49	12559	125	8355	
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		
			実績値								

事務事業名	文化の森・文化未来館管理運営事業			事業コード	10050805102
所管部署	文化課	電話	50-3164	記入者名	下口 栄子
事業対象	市民 施設利用者				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	歴史・文化・芸術の伝承と振興		事業種別	指定管理者事業
実施主体	指定管理者	実施手段	業務の全部を委託	委託内容	管理運営業務
根拠法令	有 地方自治法第244の2第3項及び各施設設置条例の規定				
根拠例規	有 坂井市文化の森・YURI文化情報交流館条例 坂井市文化の森・YURI文化情報交流館条例施行規則 みくに文化未来館条例 みくに文化未来館条例施行規則				
関連計画・マニュアル	有 坂井市教育振興基本計画				

【事業の概要】

文化施設の適切な維持管理を行うとともに、市民の文化振興を図る。

市の文化活動の拠点施設として、指定管理者により適切な管理を行うとともに、修繕及び改修については、長期的な視野に立ち計画的に行う。

指定管理者 坂井市文化振興事業団 平成25年度～平成27年度

■文化の森・文化未来館管理運営 176,284千円

- 需用費(施設等修繕料) 5,625千円
- 役務費(火災保険料) 205千円
- 委託料(指定管理(委託料)) 94,400千円
- 使用料及び賃借料(土地借上料) 3,820千円
- (デマンド監視システム使用料) 140千円
- 工事請負費(施設改修工事費) 69,623千円
- 備品購入費(舞台音響備品購入費) 1,368千円
- 修繕負担金 1,103千円

【事業の目的・事業の概要等】

すぐに行える改善提案	指定管理者のモニタリングを通して適正な管理運営を図り、年度ごとに業務の見直しを図って活動内容の検討を図ります。		
目標年度 平成26 年度			
取組状況	修繕計画に基づき、施設の老朽化に伴うハートピア春江大ホール舞台照明設備改修、みくに文化未来館照明調整卓の修繕等を行い、舞台音響備品を購入しました。毎月の業務報告を通じて、適正な運営管理がなされているを確認しました。本年度は指定管理者の指定管理期間の初年度にあたり、指定管理者委託料の年度の精算を行いました。		
中長期的に取り組むべき改善提案	施設の老朽化に応じた施設設備を計画的に行ない、それぞれの施設の特性を活かし、ハートピア春江では「質の高い芸術文化の興行」、みくに文化未来館では「地域の住民が気軽に練習や発表の場として利用できる貸館中心のホール」として、指定管理者により適正な管理運営を図りながら文化振興を図っていきます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	平成26年度では、ハートピア春江小ホールの照明設備改修、大ホール屋上防水工事、非常用電源用蓄電装置の修繕、みくに文化未来館では舞台照明のT型コンセントの取替修繕を実施していきます。それぞれの文化施設に応じた利用の促進を図ってまいります。		

【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない	B. 少し薄れている	C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）			
	A. 妥当である	B. あまり妥当でない	C. 妥当でない	A
【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない	B. 多少偏っている	C. 偏っている	A
【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない	B. 検討の余地あり	C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？			
	A. できない	B. 検討の余地あり	C. できる	B
【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない	B. 検討の余地あり	C. 見直すべき	B
【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である	B. あまり順調でない	C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？			
	A. 余地はない	B. 検討の余地あり	C. 見直すべき	B
【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない	B. 検討の余地あり	C. できる	C

【担当者評価】

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	文化振興費					
【事業のコスト】	コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			委託費	94,400 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			需用費	5,625 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			役務費	205 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			その他	76,054 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	176,284 千円	千円	千円	千円	千円	千円			
		人件費	正職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
			人件費合計	0.00 人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費	176,284 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円			
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円			
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円			
			地方債	千円	千円	千円	千円	千円			
その他			1,500 千円	千円	千円	千円	千円				
一般財源		174,784 千円	千円	千円	千円	千円					
財源合計	176,284 千円	千円	千円	千円	千円	千円					

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	老朽化した施設及び設備の状況を適切に把握しながら計画的な施設整備を行い、文化施設の拠点として指定管理者による管理運営を行っていきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	平成28年3月31日まで指定管理者による管理運営を継続します。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	平成28年3月31日まで指定管理者による管理運営を継続します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	平成28年3月31日まで指定管理者による管理運営を継続します。			
すぐに行える改善提案	指定管理者のモニタリングを通して適正な管理運営を図り、業務の見直しを行って管理内容の検討を行います。			
目標年度 平成26 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	施設の老朽化に対応した施設整備を計画的に行い、適正に管理運営ができるよう検討を行ってまいります。			
目標年度 平成27 年度				

【所属長評価】

指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
成果	ハートピア春江利用料収入	千円	目標値 13000 達成率	12600 達成率	13670 達成率	12000 達成率
		実績値 13354 102.72	12506 99.25	12310 90.05	13231 110.26	
成果	ハートピア春江利用者数	人	目標値 108500 達成率	94800 達成率	91900 達成率	90000 達成率
		実績値 159055 146.59	94650 99.84	148229 161.29	128877 ---	
活動	みくに文化未来館ホール利用率	%	目標値 42.0 達成率	41 達成率	42 達成率	41 達成率
		実績値 37.1 88.33	40.6 99.02	49 116.67	40 ---	
活動	ハートピア大ホール稼働率	%	目標値 41 達成率	35 達成率	56 達成率	53 達成率
		実績値 42.4 103.41	36.9 105.43	41.7 74.46	49.8 ---	
活動	ハートピア小ホール稼働率	%	目標値 27 達成率	27 達成率	45 達成率	45 達成率
		実績値 21.6 80	25.5 94.44	26.8 59.56	44.9 ---	
			目標値	達成率	達成率	達成率
			実績値			

【事業の成果】

事務事業名	文化財保護審議会運営事業			事業コード	10050900101
所管部署	文化課	電話	50-3164	記入者名	青山 航
事業対象	市民				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	歴史・文化・芸術の伝承と振興		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	有	文化財保護法			
根拠例規	有	坂井市文化財保護条例、坂井市文化財保護審議会規則			
関連計画・マニュアル	無				
【事業の概要】 事業の目的・事業の概要等	新たな文化財の指定に関する諮問や調査、市の文化財保護施策に関する討議などを通して、文化財の保護を図る。				
	文化財保護審議会の開催及び運営（委員数10人、任期2年） ○報酬（文化財保護審議会委員報酬）207千円 ○旅費（費用弁償）1千円 ○需用費（会議費）2千円				

すぐにできる改善提案	指定文化財に未指定となっている案件について調査して審議会へ議案提案します。
目標年度 平成26 年度	
取組状況	指定文化財候補案件のリストアップを行いました。今後有識者による調査を予定しています。
中長期的に取り組むべき改善提案	指定文化財に未指定となっている案件について調査して審議会へ議案提案します。また委員のみでなく、多くの有識者に指導を仰ぐことのできる環境を整えてまいります。
目標年度 平成30 年度	
取組状況	今年度は丸岡城石垣分布調査の際に大学教授を招聘しました。

【前年度改善案に対する取組状況】	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない	B. 少し薄れている	C. 薄れている	A	
		【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である	B. あまり妥当でない	C. 妥当でない	A
			【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない	B. 多少偏っている	C. 偏っている
【担当者評価】	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない		B. 検討の余地あり	C. できる	A
		【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない	B. 検討の余地あり	C. できる	A
			【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない	B. 検討の余地あり	C. 見直すべき
【有効性】	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である		B. あまり順調でない	C. 順調でない	A
		【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない	B. 検討の余地あり	C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？		A. できない	B. 検討の余地あり	C. できる	B

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	文化財保護費				
【事業のコスト】	コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
			報酬	207 千円	207 千円	千円	千円			
			委託費	千円	千円	千円	千円			
			需用費	2 千円	4 千円	千円	千円			
			役務費	千円	千円	千円	千円			
			その他	1 千円	1 千円	千円	千円			
			事業費合計	210 千円	212 千円	千円	千円			
	人件費	正職員	0.10 人	711 千円	0.05 人	355 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.10 人	711 千円	0.05 人	355 千円	人	千円	人	千円
	総事業費	921 千円	567 千円	千円	千円					
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円			
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円			
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円			
地方債			千円	千円	千円	千円				
その他			千円	千円	千円	千円				
一般財源		921 千円	567 千円	千円	千円					
財源合計	921 千円	567 千円	千円	千円						

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成30	年度を目安
判断理由	あらたな文化財の指定、登録文化財の指定について審議していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断理由	引き続き市が実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断理由	引き続き文化財保護審議会委員10名で実施していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断理由	現在の人員で事業を実施します。			
すぐにできる改善提案	指定文化財に未指定となっている案件について調査し審議会へ議案提案します。			
目標年度 平成27 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	指定文化財に未指定となっている案件について調査して審議会へ議案提案します。また委員のみでなく多くの有識者に指導を仰ぐことのできる環境を整えてまいります。			
目標年度 平成30 年度				

【事業の成果】	成果	会議1回あたりの議案処理件数	単位	年度	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
			件	目標値	2	達成率	1	達成率	1	達成率	1	達成率
	活動	処理議案件数	件	目標値	4	達成率	1	達成率	1	達成率	6	達成率
				実績値	3	75	1	100	1	100	20	
	活動	会議開催回数	回	目標値	2	達成率	3	達成率	3	達成率	6	達成率
				実績値	2	100	4	133.33	2	66.67	6	
				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
				実績値								
				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
				実績値								
				目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
				実績値								

事務事業名	文化財保存管理事業		事業コード	10050905101	
所管部署	文化課	電話	50-3164	記入者名	堤 徹也
事業対象	市内の文化財 市が所有する文化財 市民				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	歴史・文化・芸術の伝承と振興		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	保存管理事業
根拠法令	有	文化財保護法			
根拠例規	有	坂井市文化財保護条例 坂井市教育委員会文化課所管補助金交付要綱			
関連計画・マニュアル	無				

すぐに行える改善提案	発掘調査で出土した遺品について、1か所で保存・公開できる場所を空き施設の有効活用とともに検討していきます。	
目標年度 平成28 年度		
取組状況	出土遺物の整理作業は随時実施しています。作業場所や作業員を確保するため、期間を決めて実施しています。	
中長期的に取り組むべき改善提案	貴重な文化財を後世へ伝えるために防災設備の改修を計画的に行い公開や活用を通して文化財保護意識の啓発を行います。平成24・25年度は丸岡城の天守防災設備改修工事を行います。	
目標年度 平成28 年度		
取組状況	10月末に丸岡城防災設備の改修工事が完了しました。	

【事業の概要】

文化財の保存管理に必要な措置を講じ、貴重な文化財を後世に伝えるため、広く市民への公開や活用を通して、文化財保護意識の啓発を行う。

事業の目的・事業の概要等

【指定文化財等管理事業】
市が所有・管理する史跡等の維持管理を行う。
○委託料 2,872,588円

【指定文化財補助事業】
指定文化財所有者に対し、管理奨励金を交付して適切な管理を支援する。
○報償費 34件 370,000円
無形文化財保持者・保持団体に補助金を交付して活動を支援する。
○補助金 8件 643,000円
指定文化財保存事業に対して、補助金を交付して事業を支援する。
○補助金 2件 151,000円
国指定史跡整備を推進する団体に対し、補助金を交付して事業を支援する。
○補助金 1件 1,500,000円

【丸岡城天守防災設備改修事業】
丸岡城天守防災設備改修工事が完了した。
○委託料 1,657,500円
○工事請負費 32,636,000円

○旅費 124,660円
○需用費(修繕料等) 274,751円
○役務費 145,648円
○使用慮及び賃借料 190,469円
○工事請負費(看板設置) 525,000円
○備品購入費 25,000円
○負担金 66,000円

【前年度改善案に対する取組状況】

【担当者評価】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
効率性	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B
	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
有効性	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【事業のコスト】

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	文化財保護費		
コスト	事業費		平成25年度		平成24年度	平成23年度	平成22年度	
			報酬	千円	千円	千円	千円	
			委託費	4,530 千円	4,154 千円	千円	千円	
			需用費	275 千円	472 千円	千円	千円	
			役務費	146 千円	140 千円	千円	千円	
			その他	36,231 千円	49,346 千円	千円	千円	
			事業費合計	41,182 千円	54,112 千円	千円	千円	
	人件費		正職員	0.50 人 3,555 千円	0.00 人 千円	人 千円	人 千円	
			臨時職員	0.00 人 千円	0.00 人 千円	人 千円	人 千円	
			人件費合計	0.50 人 3,554 千円	0.00 人 千円	人 千円	人 千円	
	事業費	特定財源	総事業費		44,736 千円	54,112 千円	千円	千円
			国県支出金	22,983 千円	33,450 千円	千円	千円	
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	
地方債			千円	千円	千円	千円		
その他			10,379 千円	16,867 千円	千円	千円		
一般財源			11,374 千円	3,795 千円	千円	千円		
財源合計	44,736 千円	54,112 千円	千円	千円				

【所属長評価】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由	有形文化財の管理補助金について受益者の拡大を図ります。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由	引き続き市が実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由	予算の範囲内で無形・有形文化財の補助金を交付し文化財の保護意識の啓発を行います。			
人員投入の方向性	人員の増加を検討します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	埋蔵文化財発掘調査の増加や文化財保存、管理業務に対応するため、人員の増を検討します。			
すぐに行える改善提案	発掘調査で出土した遺品について、1か所で保存・公開できる場所を空き施設の有効活用とともに検討してまいります。			
目標年度 平成28 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	貴重な文化財を後世に伝えるために公開や活用を通して文化財保護の啓発を行います。			
目標年度 平成28 年度				

【事業の成果】

指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
成果	指定文化財の補助実施率	%	目標値 11 達成率	11 達成率	13 達成率	53 達成率
		実績値 8 72.73	11 100	10 76.92	24	
成果	指定文化財の毀損・滅失による解除件数	件	目標値 0 達成率	0 達成率	0 達成率	0 達成率
		実績値 0 ---	0 ---	0 ---	0	
活動	指定文化財の毀損等発生件数	件	目標値 0 達成率	0 達成率	0 達成率	0 達成率
		実績値 0 ---	1 ---	2 ---	0	
活動	文化財の新規指定件数	件	目標値 --- 達成率	--- 達成率	--- 達成率	--- 達成率
		実績値 0 ---	0 ---	1 ---	0	
活動	市有文化財等維持管理実施件数	件	目標値 10 達成率	10 達成率	10 達成率	10 達成率
		実績値 10 100	10 100	10 100	10	
活動	文化財補助金支出件数	件	目標値 11 達成率	11 達成率	13 達成率	53 達成率
		実績値 10 90.91	11 100	10 76.92	24	

事務事業名	埋蔵文化財発掘調査事業			事業コード	10050905111		
所管部署	文化課	電話	50-3164	記入者名	青山 航		
事業対象							
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（義務的なもの）		
	基本計画	歴史・文化・芸術の伝承と振興		事業種別	ソフト事業		
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	有	文化財保護法					
根拠例規	無						
関連計画・マニュアル	無						
事業の目的・事業の概要等	開発事業による埋蔵文化財の破壊や滅失を防ぎ、埋蔵文化財の保護と開発事業との円滑な調整を図るとともに、調査成果を広く公開し、文化財保護意識の向上と啓発を図る。						
	<p>周知の遺跡内で土木工事を行う場合に、試掘調査を実施し記録する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○賃金（発掘調査作業員賃金） 2,206千円 ○需用費（整理作業用具代等） 194千円 ○委託料（試掘調査掘削委託料） 748千円 （廃材処分委託料） 6千円 ○使用慮及び賃借料 130千円 						

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐに行える改善提案	周知の埋蔵文化財包蔵地内に存在する文化財が破壊されないように開発行為当時の届け出のホームページ、広報等を活用して周知徹底していきます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	今年度は減少したものの、届出件数は増加している。今後さらに周知を行い、無届工事が行われないようにしていきたい。		
中長期的に取り組むべき改善提案	市内遺跡の範囲確認で出土した遺物の整理や公開のための場所を確保し、成果を市民に還元できるよう努めます。		
目標年度 未設定 年度			
取組状況	これまで、報告書の着手が出来ていない。今後報告書の作成等を通し、市内遺跡の現状を市民、他市町の機関等に周知していく必要がある。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	文化財保護費				
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円				
		委託費	754千円	637千円	千円	千円				
		需用費	194千円	7千円	千円	千円				
		役務費	千円	千円	千円	千円				
		その他	130千円	千円	千円	千円				
	事業費合計	1,078千円	644千円	千円	千円					
	人件費	正職員	0.30人	2,133千円	0.30人	2,133千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.30人	2,133千円	0.30人	2,133千円	人	千円	人	千円
	総事業費	3,211千円	2,777千円	千円	千円					
	事業費	特定財源	国県支出金	1,500千円	千円	千円	千円			
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円				
分担金・負担金		千円	千円	千円	千円					
地方債		千円	千円	千円	千円					
その他		千円	千円	千円	千円					
一般財源		1,711千円	2,777千円	千円	千円					
財源合計	3,211千円	2,777千円	千円	千円						

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	開発行為による埋蔵文化財の破壊や紛失を防ぎ、埋蔵文化財の保護と円滑な調整を周知徹底により図ってまいります。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	引き続き市が実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現行の予算を最大限活用してPRに努め実施します。			
人員投入の方向性	人員の増加を検討します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	開発行為等で試掘調査が増えていることから増員して実施していきます。			
すぐに行える改善提案	周知の埋蔵文化財包蔵地内に存在する文化財が破壊されないように開発行為当時の届け出のホームページ、広報等を活用して周知徹底していきます。			
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	市内遺跡の範囲確認で出土した遺物の整理や公開のための場所を確保し、成果を市民に還元できるよう努めます。			
目標年度 -- 年度				

【事業の成果】

	指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
成果	届出1件あたりの処理コスト	円	目標値				
			実績値	16600	10127	6976	11775
活動	調査面積	㎡	目標値	300	300	150	150
			実績値	732.35	244.12	572	190.67
活動	発掘届出件数	件	目標値	63	50	30	30
			実績値	45	71.43	63	126
活動	内容確認遺跡数	件	目標値	40	40	25	25
			実績値	40	100	51	127.5
			目標値				
			実績値				
			目標値				
			実績値				